

平成28年度教育委員会事務事業点検評価(平成27年度実施事務事業)評価表							
		整理番号	1	担当部課	生涯学習部	社会教育課	
事務事業	514221	生涯学習推進事業					
	事業区分	実施計画事業	施策体系	514220	生涯学習の環境の充実		
区分	必要性	高い	有効性	非常に高い	効率性	普通	
	方向性(第一次)	現行どおり	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	市民						
事務事業目的	誰もが、生涯をとおして豊かに学び、学びを通して自分を磨き高め、学びの成果を社会の中で活かすことができるよう、生涯学習に取り組む機会や場の充実を図ります。						
事務事業内容	生涯学習に関する情報の提供や相談に総合的に応じる窓口を設置するとともに、ボランティア制度や生涯学習まちづくり出前講座の利用の促進を図り、併せて子ども大学を開校します。また、生涯学習の場として、入間川小学校の施設の一部を開放します。						
実施形態							
成果指標	生涯学習に参加した人数(公民館利用者数と公民館主催事業参加者数)						
活動指標	(活動指標1)生涯学習まちづくり出前講座利用件数 (活動指標2)さやマルシェ内の生涯学習情報へのアクセス件数 (活動指標3)生涯学習情報コーナーにおける相談件数						
目標達成状況			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	成果指標	予定	550,000	550,000	600,000	740,000	780,000
		実績	551,223	773,472	739,319	773,472	758,101
	活動指標1	予定	480	490	500	500	500
		実績	474	496	468	489	403
	活動指標2	予定	3,000	5,000	6,500	8,000	10,000
		実績	3,586	8,335	12,225	15,424	16,455
	活動指標3	予定	0	2,400	1,300	2,000	2,100
		実績	0	961	1,868	2,323	2,100
	トータルコスト	予定	0	7,774	13,624	23,942	29,493
実績		0	30,955	30,284	23,535	26,503	
見直し実績							
事務事業評価	必要性	学びを通して自分を磨き高め、学びの成果を社会に活かすうえで、生涯学習の機会や場の充実を図ることは重要であり、本事業の必要性は高い。					
	有効性	延べ75万人を超える人が生涯学習に参加し、市民交流促進総合ポータルサイト「さやマルシェ」内の生涯学習情報検索システムにも15,000件を超えるアクセスがあり、こうした点では、本事業は、市民の生涯学習への参加促進を図るうえでの有効性は高い。					
	効率性	生涯学習情報コーナーの管理運営や入間川小学校開放教室の施設管理を業務委託することで、生涯学習の推進に係る業務の効率化が図られた。					
	方向性	生涯学習の推進については、今後も市民と協働して事業を進めていく。					

平成28年度教育委員会事務事業点検評価(平成27年度実施事務事業)評価表							
		整理番号	2		担当部課	生涯学習部 中央公民館	
事務	025034	公民館管理事業					
事業	事業区分	その他の事業	施策体系	025010	教育文化事業		
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
	方向性(第一次)	現行どおり	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	各公民館						
事務事業目的		生涯学習の拠点として、市民に生涯学習に取り組む場を提供し、市民の生涯学習活動の促進を図ります。					
事務事業内容		公民館11館の施設を適正に管理し、公民館登録団体等に生涯学習活動の場として貸し出します。					
実施形態		直営(一部指定管理)					
成果指標		施設の利用率					
活動指標		(活動指標1) 施設の利用件数 (活動指標2) 施設の利用人数 (活動指標3)					
目 標 達 成 状 況		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	成果指標	予定	58.80	58.20	38.35	40.18	40.01
	単位: %	実績	44.15	38.35	40.18	40.01	42.07
	活動指標1	予定	29,000	29,000	50,550	50,814	52,574
	単位: 件	実績	29,592	50,550	50,814	52,574	49,765
	活動指標2	予定	415,000	415,000	655,157	645,970	660,981
	単位: 人	実績	415,697	655,157	645,970	660,981	617,831
	活動指標3	予定					
	単位:	実績					
	トータルコスト	予定		211,672	225,376	226,659	226,291
(千円)	実績		208,165	224,642	226,105	221,271	
見直し実績							
事 務 事 業 評 価	必要性	市民の学習活動の場としての利用を通して、市民の生涯学習活動の促進を図るうえで、必要性は高い。					
	有効性	施設の利用件数が49,765件、利用者も延べ617,831人であり、市民の生涯学習活動の促進を図るうえで、本事業は有効に機能している。					
	効率性	指定管理者制度の導入、委託契約内容の見直し等により、事業の効率化が図られた。					
	方向性	地域の生涯学習の拠点として、生涯学習に取り組む場や成果発表する場とし、利用を促進していく。					

平成28年度教育委員会事務事業点検評価(平成27年度実施事務事業)評価表							
		整理番号	3	担当部課	生涯学習部	中央公民館	
事務	025037	公民館講座等運営事業					
事業	事業区分	その他の事業	施策体系	025010	教育文化事業		
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
	方向性(第一次)	現行どおり	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	各公民館						
事務事業目的		生涯学習の拠点として、市民に生涯学習に関する機会を提供し、市民の生涯学習活動の促進を図るとともに、社会教育の振興を図ります。					
事務事業内容		生涯学習に関する講座等を開催するとともに、社会教育事業として、現代的課題や地域の課題に関する講座等を開催します。					
実施形態		直営(一部指定管理)					
成果指標		講座等の延べ参加者数					
活動指標		(活動指標1) 講座等の件数 (活動指標2) 講座等の延べ開催回数 (活動指標3)					
目 標 達 成 状 況			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	成果指標	予定	135,000	135,000	118,315	102,684	123,740
	単位: 人	実績	135,526	118,315	93,349	112,491	140,270
	活動指標1	予定	340	350	369	356	347
	単位: 件	実績	349	369	324	388	417
	活動指標2	予定	1,400	1,450	1,538	1,329	1,292
	単位: 回	実績	1,450	1,538	1,208	1,414	1,545
	活動指標3	予定					
	単位:	実績					
	トータルコスト	予定		85,808	84,218	92,843	93,490
(千円)	実績		84,657	83,178	92,658	90,993	
見直し実績							
事 務 事 業 評 価	必要性	市民の地域学習の促進を図るうえで、必要性は高い。					
	有効性	講座等に延べ140,270人の参加者があり、現代的課題や地域課題などをテーマとした講座の開催を通じて、市民の地域学習の促進に有効に機能している。					
	効率性	実費相当分の参加費を徴収し、受益者負担の適正化を図ることにより、事業の効率化が図られた。					
	方向性	今後も現代的課題や地域課題の取り組みを強化し、市民の地域学習の促進を図っていく。					

平成28年度教育委員会事務事業点検評価(平成27年度実施事務事業)評価表							
		整理番号	4		担当部課	生涯学習部 中央図書館	
事務	025044	図書館管理事業					
事業	事業区分	その他の事業	施策体系	025010	教育文化事業		
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
	方向性(第一次)	現行どおり	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	図書館利用者						
事務事業目的	図書館施設を適切に維持管理し、利用者に快適な学習の場と機会を提供します。						
事務事業内容	図書館施設・設備の維持管理、事務用品や備品等の管理、その他図書館運営に必要な業務を総括的に管理します。						
実施形態	一部委託						
成果指標	図書館来館者数						
活動指標	(活動指標1) 図書館の開館日数 (活動指標2) 図書館の夜間開館日数 (活動指標3)						
目 標 達 成 状 況		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	成果指標	予定	590,000	590,000	550,000	408,291	500,000
	単位: 人	実績	599,953	564,063	551,694	412,703	515,790
	活動指標1	予定	290	291	284	295	292
	単位: 日	実績	291	284	289	296	292
	活動指標2	予定	137	146	136	123	143
	単位: 日	実績	139	136	140	123	143
	活動指標3	予定					
	単位:	実績					
	トータルコスト	予定		78,963	78,645	99,572	75,712
(千円)	実績		77,919	80,618	102,142	73,810	
見直し実績							
事 務 事 業 評 価	必要性	市民の学習ニーズは多様化、高度化しており、社会教育、生涯学習の場として図書館の果たす役割は大きいことから、本事業の必要性は高い。					
	有効性	夜間開館はサービスとして定着しており、一定の利用がある。					
	効率性	適切に施設の管理を行うため、専門の業者に設備の管理や警備等の業務を委託している。					
	方向性	図書館施設を適切に維持管理し利用者に提供するため、事業を継続して実施していく。					

平成28年度教育委員会事務事業点検評価(平成27年度実施事務事業)評価表						
		整理番号	5		担当部課	生涯学習部 中央図書館
事務事業	514211	レファレンスサービス(資料相談業務)事業				
事業区分	実施計画事業	施策体系	514210	生涯学習の機会の拡充		
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	高い
	方向性(第一次)	現行どおり	改善、効率化の内容		方向性(第二次)	
対象	中央図書館					
事務事業目的	様々なニーズに対してきめ細かな図書館サービスの提供を行い、利用者の学習や調査活動を支援します。					
事務事業内容	レファレンスツール(参考図書、新聞、データベース検索サービス等)の充実に努めるとともに、研修会等を通じて職員の研鑽を図ります。					
実施形態	直営					
成果指標	図書館のレファレンス件数					
活動指標	(活動指標1)レファレンス図書受入冊数 (活動指標2)レファレンス研修への延参加人数 (活動指標3)					
目標達成状況		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	成果指標	予定	13,000	13,000	9,000	13,000
	単位:件	実績	13,314	14,508	11,121	14,427
	活動指標1	予定	20	25	23	20
	単位:冊	実績	22	23	33	20
	活動指標2	予定	15	14	15	15
	単位:人	実績	14	23	11	18
	活動指標3	予定				
	単位:	実績				
	トータルコスト(千円)	予定	13,828	14,691	14,241	13,241
	実績	13,551	14,536	14,258	13,081	
見直し実績						
事務事業評価	必要性	利用者のニーズは多様化、高度化しており、課題解決を図るうえで、図書館の果たす役割は大きい。				
	有効性	資料性が高い参考図書を選定し購入するとともに、県が主催する図書館研修に職員を派遣することでレファレンスサービスの充実に努めている。				
	効率性	インターネットによる法情報等のデータベースを活用して、経費と省スペース化を図っている。				
	方向性	利用者のニーズを的確に把握し、求める資料をすばやく提供するために今後も資料の収集と職員の研鑽に努める。				

平成28年度教育委員会事務事業点検評価(平成27年度実施事務事業)評価表							
	整理番号	6	担当部課	生涯学習部	博物館		
事務	025074	博物館管理事業					
事業	事業区分	その他の事業	施策体系	025010	教育文化事業		
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
	方向性(第一次)	現行どおり	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	一般						
事務事業目的		施設の維持管理及び資料の保管を行う。また、文化・歴史・自然等に対する興味、関心を得られるような企画展・講座等を開催し、郷土狭山に関する学習活動の醸成を図る。					
事務事業内容		常設展示では、展示テーマ「入間川と入間路」を中心に、通史的に展示するほか、講座や体験学習等の自主事業を実施する。 企画展は「狭山らしさ」を踏まえ、興味や関心を高めるもの及び独自性に富んだものを基軸として開催する。					
実施形態		指定管理					
成果指標		全入館者数に対する常設展示入館者数の割合					
活動指標		(活動指標1) 全入館者数 (活動指標2) 常設展示入館者数 (活動指標3)					
目 標 達 成 状 況		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	成果指標	予定	54.48	48.59	49.36	41.12	37.66
	単位: %	実績	48.73	44.87	29.76	37.96	44.28
	活動指標1	予定	39,443	35,692	27,593	35,551	34,852
	単位: 人	実績	28,066	28,730	43,857	31,969	27,099
	活動指標2	予定	21,491	17,345	14,058	13,206	13,128
	単位: 人	実績	13,677	12,892	13,050	12,136	12,000
	活動指標3	予定					
	単位:	実績					
	トータルコスト (千円)	予定		82,453	85,448	87,360	88,992
	実績		82,421	85,640	87,171	86,944	
見直し実績		指定管理者制度の導入により、平成27年4月1日より指定管理者が管理運営を行っている。					
事 務 事 業 評 価	必要性	当市の歴史・自然などの資料展示や講座の開催等を通して、郷土に対する理解の醸成を図るうえで、必要性は高い。					
	有効性	指定管理者制度の導入により、平成27年4月1日から博物館企画展事業は博物館管理事業の博物館管理料により企画・実施されている。これをふまえて前年度と比較するとトータルコストは抑えられており有効性は高い。					
	効率性	指定管理者制度を導入し、更なるコスト削減を図っている。					
	方向性	指定管理者制度の導入により、民間事業者ならではの経営ノウハウを積極的に活用し、市民サービスの向上と効率的な施設の維持管理による経費の節減を進めていく。					

平成28年度教育委員会事務事業点検評価(平成27年度実施事務事業)評価表						
		整理番号	7		担当部課	生涯学習部 中央公民館
事務	514223	公民館改修事業				
事業	事業区分	実施計画事業	施策体系	514220	生涯学習の環境の充実	
区分	必要性	高い	有効性	非常に高い	効率性	高い
	方向性(第一次)	現行どおり	改善、効率化の内容		方向性(第二次)	
対象	各公民館					
事務事業目的		老朽化した公民館の施設・設備を改修し、快適な学習環境を確保します。				
事務事業内容		公民館の施設・設備の老朽化に伴い、狭山市公共建築物改修計画に基づき、施設・設備の改修を計画的に行います。				
実施形態		直営				
成果指標		施設・設備の改修が必要な公民館(2館)に対する改修が完了した公民館の割合				
活動指標		(活動指標1) 施設・設備改修工事の件数 (活動指標2) (活動指標3)				
目 標 達 成 状 況		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	成果指標	予定			50.00	100.00
	単位: %	実績			50.00	100.00
	活動指標1	予定			1	1
	単位: 件	実績			1	1
	活動指標2	予定				
	単位:	実績				
	活動指標3	予定				
	単位:	実績				
トータルコスト	予定				5,959	5,040
(千円)	実績				4,797	4,530
見直し実績						
事 務 事 業 評 価	必要性	快適な学習環境の確保や施設の機能を維持するために、老朽化した公民館の施設・設備を計画的に改修することの必要性は高い。				
	有効性	快適な学習環境の確保を図るうえで、本事業の有効性は高い。				
	効率性	広瀬公民館の工事を計画的に進めることにより、事業の効率化が図られた。				
	方向性	今後も狭山市公共建築物改修計画に基づき計画的に改修工事を進めることにより、快適な学習環境の確保を図る。				

平成28年度教育委員会事務事業点検評価(平成27年度実施事務事業)評価表							
	整理番号	8		担当部課	生涯学習部	中央公民館	
事務事業	514224	公民館空調改修事業					
	事業区分	実施計画事業	施策体系	514220	生涯学習の環境の充実		
区分	必要性	高い	有効性	非常に高い	効率性	高い	
	方向性(第一次)	現行どおり	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	各公民館						
事務事業目的	老朽化した公民館の空調設備を改修し、快適な学習環境を確保します。						
事務事業内容	公民館の空調設備の老朽化に伴い、狭山市公共建築物改修計画に基づき、空調設備の改修を計画的に行います。						
実施形態	直営						
成果指標	空調設備の改修が必要な公民館(6館)に対する改修が完了した公民館の割合						
活動指標	(活動指標1) 空調改修工事の件数 (活動指標2) (活動指標3)						
目標達成状況		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	成果指標	予定	0	33.33	50.00	66.67	66.67
	単位: %	実績	0	33.33	50.00	66.67	66.67
	活動指標1	予定	0	2	1	1	0
	単位: 件	実績	0	2	1	1	0
	活動指標2	予定					
	単位:	実績					
	活動指標3	予定					
	単位:	実績					
トータルコスト	予定		120,170	52,294	54,683	2,978	
(千円)	実績		92,668	50,776	54,522	522	
見直し実績							
事務事業評価	必要性	快適な学習環境の確保や施設の機能を維持するために、老朽化した公民館の空調設備を計画的に改修することの必要性は高い。					
	有効性	快適な学習環境の確保を図るうえで、本事業の有効性は高い。					
	効率性	狭山台公民館の工事に伴う設計を計画的に進めることにより、事業の効率化が図られた。					
	方向性	今後も狭山市公共建築物改修計画に基づき計画的に改修工事を進めることにより、快適な学習環境の確保を図る。					

平成28年度教育委員会事務事業点検評価(平成27年度実施事務事業)評価表							
	整理番号	9		担当部課	生涯学習部	社会教育課	
事務事業	514227	新狭山公民館更新事業					
	事業区分	実施計画事業	施策体系	514220	生涯学習の環境の充実		
区分	必要性	非常に高い	有効性	非常に高い	効率性	非常に高い	
	方向性(第一次)	現行どおり	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	公民館						
事務事業目的	老朽化した新狭山公民館を建て替え、快適な学習環境を確保します。						
事務事業内容	新狭山地区センターを統合した新たな新狭山公民館として建て替えます。						
実施形態	直営、一部委託						
成果指標	新狭山公民館更新事業の進捗率						
活動指標	(活動指標1) 設計業務の進捗率 (活動指標2) 解体工事の進捗率 (活動指標3) 新築工事の進捗率						
目標達成状況		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	成果指標	予定				30	50
		実績				20	50
	活動指標1	予定				100	100
		実績				50	100
	活動指標2	予定				-	100
		実績				-	100
	活動指標3	予定				-	-
		実績				-	-
	トータルコスト(千円)	予定				31,275	58,254
実績					7,262	74,148	
見直し実績							
事務事業評価	必要性	施設の老朽化が進み、バリアフリーや耐震性にも十分に適応できないなかで、市民の学習活動及び地域活動を推進するためには、本事業の必要性は高い。					
	有効性	学習環境の充実が図られることから、本事業の有効性は高い。					
	効率性	新狭山地区センターとの統合により、市民の利便性の向上を図るとともに、施設の運営経費の節減と効率化が図られる。					
	方向性	新狭山公民館の老朽化に対応して、施設の更新を計画的に推進する。					

平成28年度教育委員会事務事業点検評価(平成27年度実施事務事業)評価表						
	整理番号	10		担当部課	生涯学習部	社会教育課
事務	514229	入曽公民館更新事業				
事業	事業区分	実施計画事業	施策体系	514220	生涯学習の環境の充実	
区分	必要性	非常に高い	有効性	非常に高い	効率性	非常に高い
	方向性(第一次)	現行どおり	改善、効率化の内容		方向性(第二次)	
対象	公民館					
事務事業目的		老朽化した入曽公民館を建て替え、快適な学習環境を確保します。				
事務事業内容		狭山市総合振興計画実施計画に基づき、入曽公民館を建て替えます。				
実施形態		直営、一部委託				
成果指標		入曽公民館更新事業の進捗率				
活動指標		(活動指標1) 設計業務の進捗率 (活動指標2) 新築工事の進捗率 (活動指標3)				
目 標 達 成 状 況		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	成果指標	予定				10
	単位: %	実績				10
	活動指標1	予定				-
	単位: %	実績				-
	活動指標2	予定				-
	単位: %	実績				-
	活動指標3	予定				
	単位:	実績				
	トータルコスト (千円)	予定				5,275
	実績				5,321	16,130
見直し実績						
事 務 事 業 評 価	必要性	施設の老朽化が進み、バリアフリーや耐震性にも十分に適応できないなかで、市民の学習活動及び地域活動を推進するためには、本事業の必要性は高い。				
	有効性	学習環境の充実が図られることから、本事業の有効性は高い。				
	効率性	市民の利便性の向上を図るとともに、施設の運営経費の節減と効率化が図られる。				
	方向性	入曽公民館の老朽化に対応して、施設の更新を計画的に推進する。				